

INFORMATION

No. 2411-43

容器変更に関するお知らせ

謹啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

この度、微生物学的検査の嫌気性菌培養・同定検査で使用しております嫌気ポーター(弊社容器番号:q)(新容器番号:J06)について、容器販売元(テルモ株式会社)より、本容器の販売を中止する旨の連絡がございました。

これに伴い、同等の性能を有する容器に変更させていただきます。



なお、この変更に伴う受託要領の変更はございません。

先生方には大変ご迷惑をお掛けいたしますが、何卒ご了承のほど宜しくお願い申し上げます。

謹白

記

■対象容器と代替品

	新	旧(現行品)
◇容器番号 q (新容器番号:J06) 旧:嫌気ポーター 新:シードチューブ 主な検査項目 ・微生物学的検査		

(裏面に続く)

■変更日

在庫状況に応じて順次新容器へと切替えさせていただきます。

株式会社 武蔵臨床検査所

* お問い合わせは当社または担当者までお願いいたします。

〒358-0013 埼玉県入間市上藤沢309-8
TEL 04-2964-2621 FAX 04-2964-6659
URL <http://www.e-musashi.co.jp>

■対象容器

	新	旧(現行品)
容器番号	q(新容器番号:J06)	q(新容器番号:J06)
容器名	シードチューブ	嫌気ポーター
培地の成分	寒天、塩化ナトリウム、リン酸塩等	レザズリン入寒天
容器の貯蔵方法	室温	室温
有効期限	製造後6か月	製造後2年
販売元	栄研化学株式会社	テルモ株式会社

■新容器の使用方法

液体検体(穿刺液、消化液等)	固形検体(膿、糞便、組織片等)
<p>① 穿刺部(ゴムキャップ上の小円)を消毒用アルコール綿等で消毒します。</p> <p>② 注射針を穿刺部に垂直に穿刺し、液体検体を注入します。</p> <p>③ チューブラベルを貼付し輸送してください。</p> <p>④ 検体は速やかに検査してください。 やむを得ず保存する場合は冷所保存してください。</p>	<p>① ゴムキャップを消毒用アルコール綿等で消毒します。</p> <p>② ゴムキャップを外し、固形検体を入れます。 検体は寒天の奥まで挿入してください。 ※綿棒は長さ7cmまで入ります。 それ以上のものは切断してください。</p> <p>③ ゴムキャップを速やかにしっかり閉めます。</p> <p>④ チューブラベルを貼付し輸送してください。</p> <p>⑤ やむを得ず保存する場合は冷所保存してください。</p>
<p>↓キャップは開けずに注射針で注入</p> <p>←液体の検体量は容器の8割までとします。</p> <p>←液体状検体</p> <p>←寒天</p>	<p>例:ガーゼや滅菌綿棒で拭った検体(*)</p> <p>←検体を培地中に埋め込む</p> <p>※酸素侵入による培地の着色機構はありません。</p>

- (*)検体を採取したガーゼは、滅菌ハサミで容器に入る大きさにカットしてください。
ガーゼや滅菌綿棒で採取した検体が寒天の中に埋まるように入れてください。
寒天の中に入れることにより嫌気状態が維持され、嫌気性菌の死滅を防ぎ、培養検査での検出率の低下を防ぎます。